



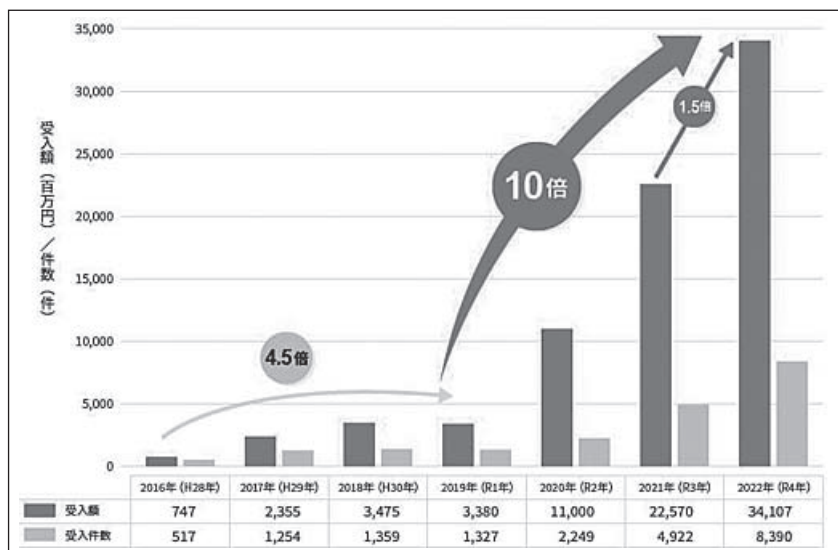
内田 雅人 議員

質問

# 企業版ふるさと納税にも力を

町長

魅力的事業をPRし進めたい



全国的に急増する企業版ふるさと納税

**質問** 企業版ふるさと納税の制度活用を大きな財源確保戦略のひとつに据えるべきだ。山形県西川町など、この制度を活用して大きく寄付実績を伸ばしている自治体が増えている。

企業が寄付したくなるような社会貢献活動のプロジェクトや、パートナー企業としてのメリットの紹介など、やり方次第で伸ばせる可能性がある。

**町長** 企業が寄付したいと思えるような魅力的な事業構築が重要であり、町が主体的に働きかけていくことが必要だ。ホームページなども工夫をしながらやっていきたい。

再質問

県外の企業への働きかけは手が足りないのではないのか。今は寄付を増やせるよう自治体を支援する事業者もある。金銭的なりスクの無い成果報酬型の契約で企業への営業を委託している自治体も増えている。

**副町長** 現在職員で対応しているというのが実態だが、企業との関係づくりを進める意味でも、成功報酬型の委託契約も前向きに考えていく必要があると思う。

キャリアアップを支援する組織に

**質問** 様々な価値観が生まれている現代、仕事の位置付けも変わり、やりがいを感じない仕事は離職につながる。

公務員は異動も多いが、職員のキャリアアップを支援し、資格取得によって自信や承認が得られるような組織にしたい。

職員の意欲を尊重し、参加したい業務があれば他課からも申請できる制度を設けている自治体もある。

**町長** 職員がキャリアアップできる環境づくりは町長の責務である。参加したい業務があれば申



職員の資格取得を促し、活力ある組織に(イメージ)

その他の質問

地方の実情を積極的に中央へ

請できる制度は内容を担当課に調べさせたい。  
他課の業務でも常に関心を持って、若いうちから意見を交わす環境は大事であり、力を入れていきたい。